

2025年3月期 第3四半期
決算説明資料



松田産業株式会社
2025年2月13日





本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を負うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

<お問い合わせ先>

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム : <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

決算の概要（2025年3月期 第3四半期）



前年同四半期に比べ、売上高と営業利益、四半期純利益ともに増加

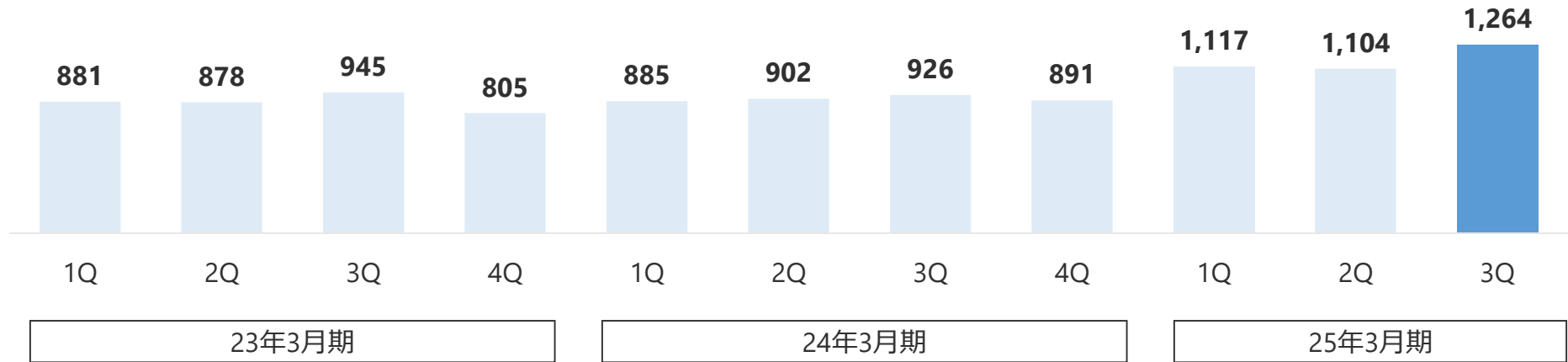
(億円)

	24年3月期 3Q実績	25年3月期 3Q実績	増減		25年3月期 通期見通し
売上高	2,713	3,486	+772	+28.5%	4,400
営業利益	71	108	+36	+51.2%	117
営業利益率	2.6%	3.1%	+0.5pt	-	2.7%
経常利益	79	115	+35	+44.6%	125
四半期純利益	53	80	+27	+51.3%	87
1株当たり四半期純利益 (円)	205.28	311.99	+106.71	+52.0%	337.61

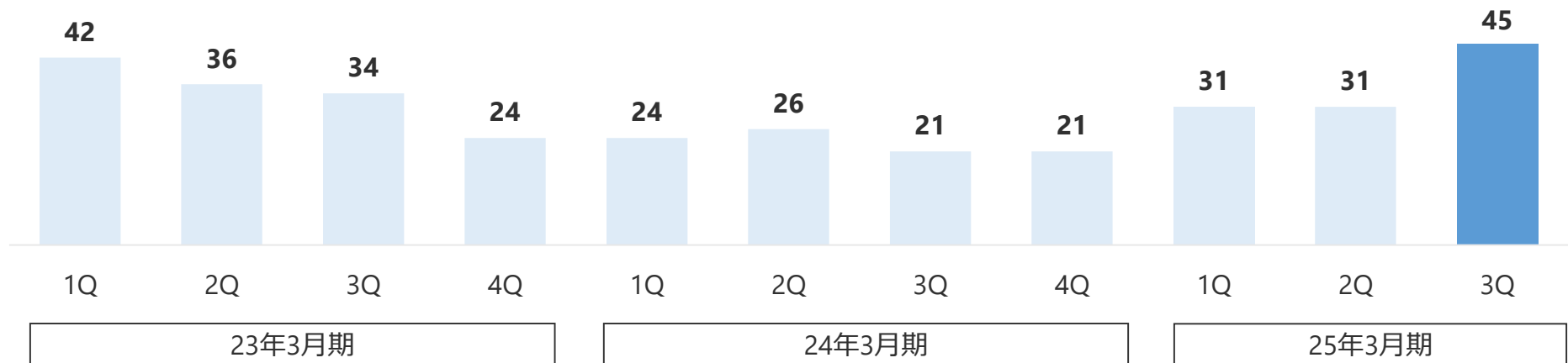
連結業績の四半期推移

(億円)

売上高



営業利益



連結貸借対照表

【資産の部】		(億円)		
	24年3月期末	25年3月期 3Q末	増減	増減要因
流動資産	1,023	1,171	+148	(+) 売掛金、棚卸資産の増加
固定資産	466	487	+20	(+) 工場設備の新設
資産合計	1,489	1,658	+169	
【負債の部】				
	24年3月期末	25年3月期 3Q末	増減	増減要因
流動負債	445	475	+30	(+) 買掛金の増加 (-) 短期借入金の返済
固定負債	130	193	+63	(+) 長期借入金の増加
うち有利子負債	294	322	+28	
負債合計	575	669	+93	
【純資産の部】				
	24年3月期末	25年3月期 3Q末	増減	増減要因
純資産合計	913	989	+75	(+) 利益剰余金、為替換算調整勘定、繰延ヘッジ損益の増加
負債純資産合計	1,489	1,658	+169	
自己資本比率	61.2%	59.5%		

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	24年3月期 3Q実績	25年3月期 3Q実績	増減	25年3月期3Q実績の概要
営業キャッシュ・フロー	▲27	25	+53	(+) 税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加 (-) 売上債権・棚卸資産の増加、法人税等の支払
投資キャッシュ・フロー	▲50	▲36	+14	(-) 工場設備の新設、ソフトウェアの取得
フリー・キャッシュ・フロー	▲78	▲10	+68	
財務キャッシュ・フロー	78	5	▲72	(+) 長期借入金の増加 (-) 短期借入金の返済、配当金の支払
現金及び現金同等物の増減	7	▲3	▲10	
現金及び現金同等物の期末残高	124	141	+16	

○ セグメント別の業績（貴金属関連事業）

- エレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、データセンター関連での需要拡大は見られたが、スマートフォンや自動車向けなどでの需要には回復が見られず、全体的に半導体・電子部品等の生産停滞が継続。
- 宝飾分野からの貴金属リサイクル取扱量は増加し、金相場が堅調に推移したことから、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加

(億円)

	24年3月期 3Q実績		25年3月期 3Q実績		増減				
	24年3月期 3Q実績	25年3月期 3Q実績	増減	増減	増減	増減	増減要因	増減要因	
売上高	1,867	2,662	+795	+42.6%	金	2,026	+764	+60.5%	数量要因 +18.1%、価格要因+42.5%
営業利益	53	87	34	+64.5%	銀	185	+61	+50.1%	数量要因+11.9%、価格要因+38.2%
営業利益率	2.8%	3.3%	+0.5pt	-	白金族	305	▲39	▲11.4%	数量要因▲6.3%、価格要因▲5.1%
					その他	144	+8	+6.3%	

セグメント別の業績（食品関連事業）

- 食品製造業界は、インバウンド需要の影響はあったものの、物価上昇などから個人消費には弱さが見られ、為替の円安影響等による原材料価格や物流コストの高止まりなど、不安定な市場環境
- 水産品の販売量は増加したが、畜産品、農産品の販売量は減少し、全体的に販売価格が低下したことから売上高は前年同四半期に比べ減少したが、在庫回転率の向上によるコストの適正化などにも努めた結果、営業利益は前年同四半期に比べ増加

(億円)

	24年3月期 3Q実績	25年3月期 3Q実績	増減	
売上高	846	824	▲22	▲2.7%
営業利益	18	21	+2	+13.1%
営業利益率	2.2%	2.6%	+0.4pt	-

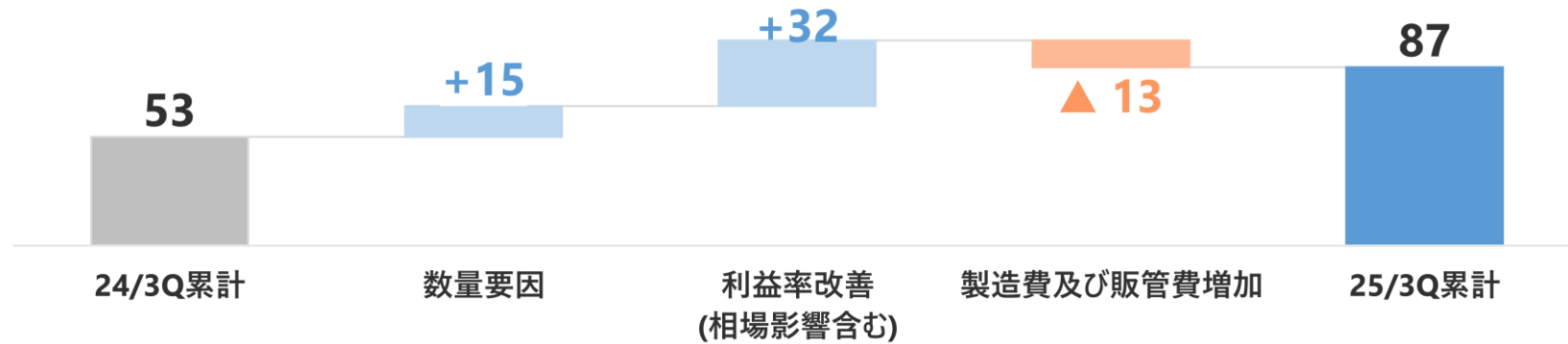
	25年3月期 3Q実績	増減		増減要因
水産品	336	+28	+9.4%	数量要因+7.6%、価格要因+1.8%
畜産品	329	▲37	▲10.3%	数量要因▲5.2%、価格要因▲5.1%
農産品	106	▲2	▲2.6%	数量要因▲5.9%、価格要因+3.4%
その他	52	▲10	▲17.4%	

営業利益の増減

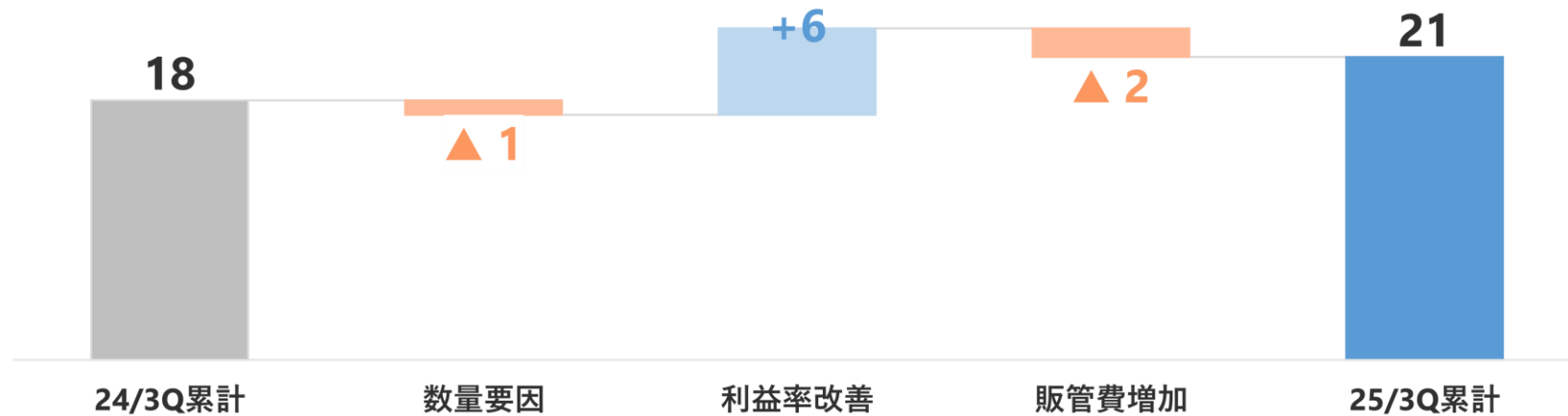
- 貴金属関連事業は、電子デバイス分野での数量改善に力強さを欠くものの、宝飾分野での数量増加や金相場上昇が貢献
- 食品関連事業は、販売量の増減にばらつきがあるものの、コスト適正化や価格転嫁などで利益率を改善

(億円)

貴金属関連事業



食品関連事業

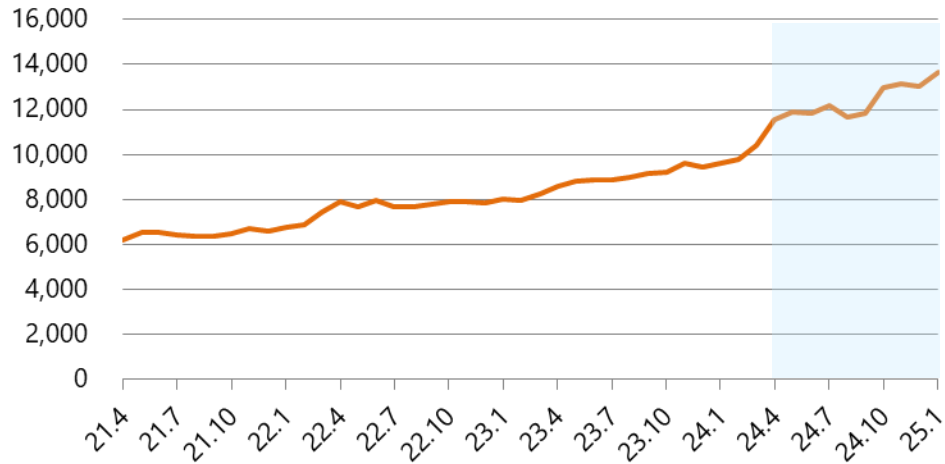


Appendix

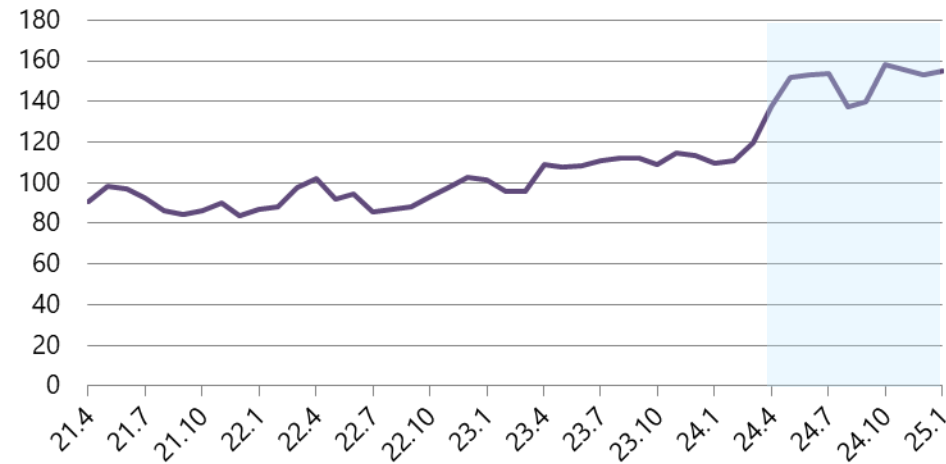


貴金属相場の推移

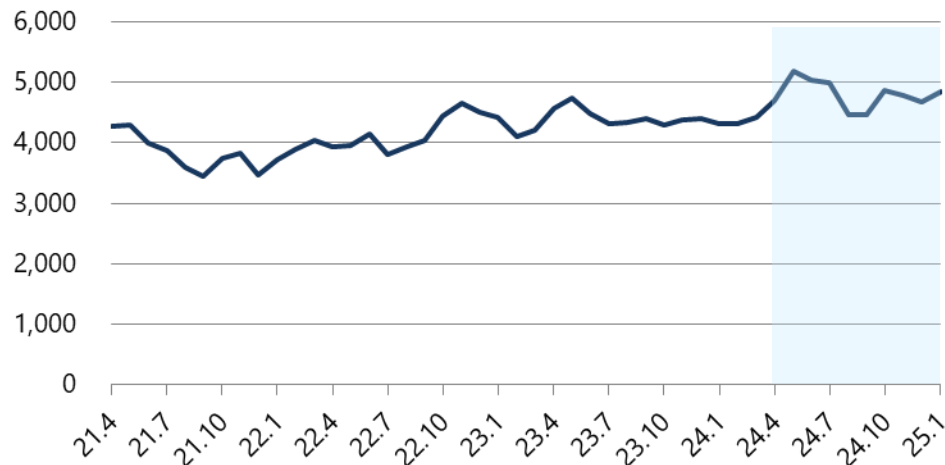
— 金 (山元建値 円/g)



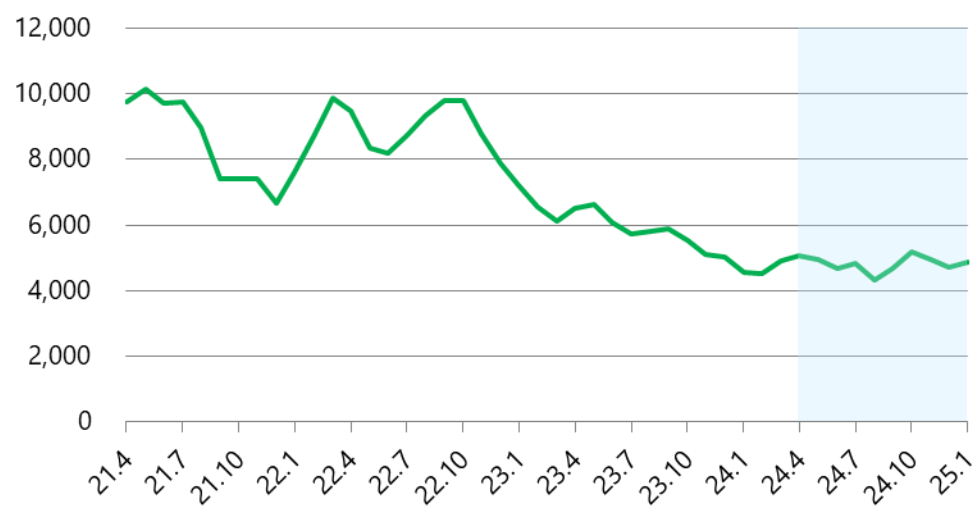
— 銀 (山元建値 円/g)



— 白金 (N・Y\$建円換算 円/g)



— パラジウム (N・Y\$建円換算 円/g)





松田産業株式会社

MATSUDA SANGYO CO., LTD.